

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 【椿小学校】

<第3学年：大好き！椿の偉人

～今村久兵衛について調べよう～

今村久兵衛は、校区の偉人である。今回、3年生が地元の偉人についての調べ学習に取り組んだ。調べ学習を進める中で、「今村久兵衛（いまむらきゅうべえ）」の資料が限られているため、久兵衛の思いを継承する団体である「久兵衛会」から講師を招いて学習会を行うことにした。講師の話から、児童は、飢饉の際、命を懸けて校区を守り抜いた姿や村の長としての責任感と思いやりを理解することができた。また、久兵衛の思いが、今の「久兵衛会」につながり、現在の俳句パネル設置や町づくりに活かされていることも分かった。これらの学習を通して、児童は、米作りの苦労や自然の大切さにも気付くとともに、地域の一員としてどのように行動すればよいか考えるよい機会となった。ふるさと椿をさらに大切に思う気持ちを高めるのに大いに効果的な学習活動であった。



<第5学年：自分たちの今、未来の地球>

椿小校区は大雨による水害に遭いやすいと昔から言われる土地である。5年生は、「自分たちの住む地域の中にある大切なものを後世に残すために」という大きなテーマのもと、防災・減災についての調べ学習に取り組んだ。まず、専門家の講師を招き、危険箇所の見付け方や防災マップの作り方について講義を受けた。次に、地区の自主防災会の方や大学・行政関係者と一緒に防災まち歩きを行い、地域の危険箇所や災害時に役立つ施設などを調べた。児童は、防災まち歩きで分かったことを身近な人に伝えるため、防災マップ作りに取り組んだ。校内放送で他学年の児童に完成した防災マップを紹介したり、参観日等を利用して、保護者等に伝えたりすることができた。

地域の方々と共に学ぶ学習を通して、児童は、防災に対する意識を高め、自分の住む地域に古くから受け継がれてきたものや今の生活に不可欠なものを未来に残していこうという郷土愛を育むことにつながる大いに効果的な学習活動であった。

